

事故が多発する 水沢交差点の対応策は



笠原 吉範 議員

質問 国道101号線拡幅工事に伴い改修された水沢交差点は供用以来、事故が発生し改修前より危険な交差点になった。

①設計段階で予測できなかったのか。
②未だ防風網の一部取り外し、ミラー設置の対策のみなのはなぜか。
③再度改修工事を行うべきではないか。

答弁 能代警察署によると、2件の物損事故と1件の人身事故が発生。国道を横断中に能代市方面、八森方面からの進行

していた車と衝突。警察署の所見では国道を横断しようとした車の運転手が左方の安全確認を怠り漫然と進行したため衝突したとなっている。

①水沢郷中役員、建設課職員で道路改良事業の説明を受けたが指摘される事項はなかった。その後も意見なく経過したため予想されなかった。

事故が多発していることへの対応策について、住民から、「松峰園方向から国道へ出るとき能代市方向が見えにくい、能代市方向から水沢方面へ右折するとき交差点の位置がわかりにくく通り越してしまふ。」と連絡を受け、県と協議して防風柵の網の撤去と水沢ダム案内看板の移設を行った。

②冬期にむけて網の設置にともない、能代市方向の防雪柵を3スパン撤去を行った。松峰園方向か

ら国道に進入する車が確認できるようカーブミラーの設置も計画している。町では防雪柵撤去により交差点の風雪が強まると思い、町有地に簡易防雪柵25m設置した。町民からの要望された点は県と協議し可能な限り対策を行った。

③今後の通行状況等も観察しながら、具体的な改良方策があれば、再度県への提案も考えるが、町民の皆様へも安全確認等の注意を呼びかけるとともに、必要に応じて注意看板設置等考えていく。

再質問 下カッチキ台側には施設もあるが、ほとんどの人は改修以来、危険なためこの道路を通らない。かわりに旧テニスコート側を通るが、朝夕保育園、学校の送迎で、非常に危険である。

私のアイディアだが、改修前の道路に残っているポールをはずして進入



町道水沢線方向より

できるようにし、改修した道路と両方使用できないか。

答弁 突然の案なので建設課へ提出してもらい、県と話し合いして可能かどうか判断してみる。

農業施策を平成27年度 予算に反映せよ



皆川 鉄也 議員

質問 小・中学校の統合問題などの中で新年度予算編成はこれまで以上に厳しいものと思うが、町の基本的考えは。

答弁 国の予算編成方針では年金などを除く歳出要求額を10%減、地方交付税の対前年度比5%減とする厳しい方針が示されている。これを受けて町の予算編成方針の基本方針は、

①大型事業を抱えていることから、新規事業は極力抑制し、効果の薄れた事務事業の廃止・縮小に努めること

②国の地方創生事業や県の新規事業を積極的に活用し、産業振興や人口減少対策に向けた取り組みを積極的に推進すること
③新町誕生10周年記念事業予算枠も設けることとした。

新年度は、「第2次総合振興計画」「新町まちづくり計画」などの町の中・長期計画を策定する重要な年でもある。

現在、作業中であるが、町民の意見・要望等を踏まえて、町全域の均衡ある発展と町民福祉の向上につながる予算編成に努めたい。

再質問 農業はこの先どう進むべきか、早めに町の体制を整えるべきでは。高齢者の福祉対策をどのように進めていくのか。

答弁 農業については米以外の作物を推奨していくという流れになるだろうし、規模拡大で効率

化を図るという方向性も出されている。JAでも緊急の農家のアンケートを実施しているので、そのまとめを元に議論していきたい。

農家の方々の声を聞き、町としてもそれらを踏まえながら方針を立てていく。

一人暮らしや二人暮らし世帯が圧倒的に多くなっており、この対策も大事な課題である。医療の関係も含め、従来のものを強化しながら安心できる福祉対策を盛り込んでいきたい。

再質問 農家の意見を十分聞いたうえで早めに対策を。

答弁 農業は町の基幹産業であり、重要な部分を占めている。農家の声を十分反映できるようにする。



除雪対策の あり方について

質問 除雪計画には地域の要望も入れ、きめ細かな対策を。

答弁 先の行政協力員会議で対象外路線等について説明し、12月の広報にも掲載して周知を図った。自治会からの要望も取り入れ、必要に応じて見直しを行う。